

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月17日

計画の名称	嬭野市における持続可能な下水道事業の実現（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	嬭野市												
計画の目標	下水道事業の役割を踏まえ、持続的な下水道事業の実現を目的に、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	200	A	200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

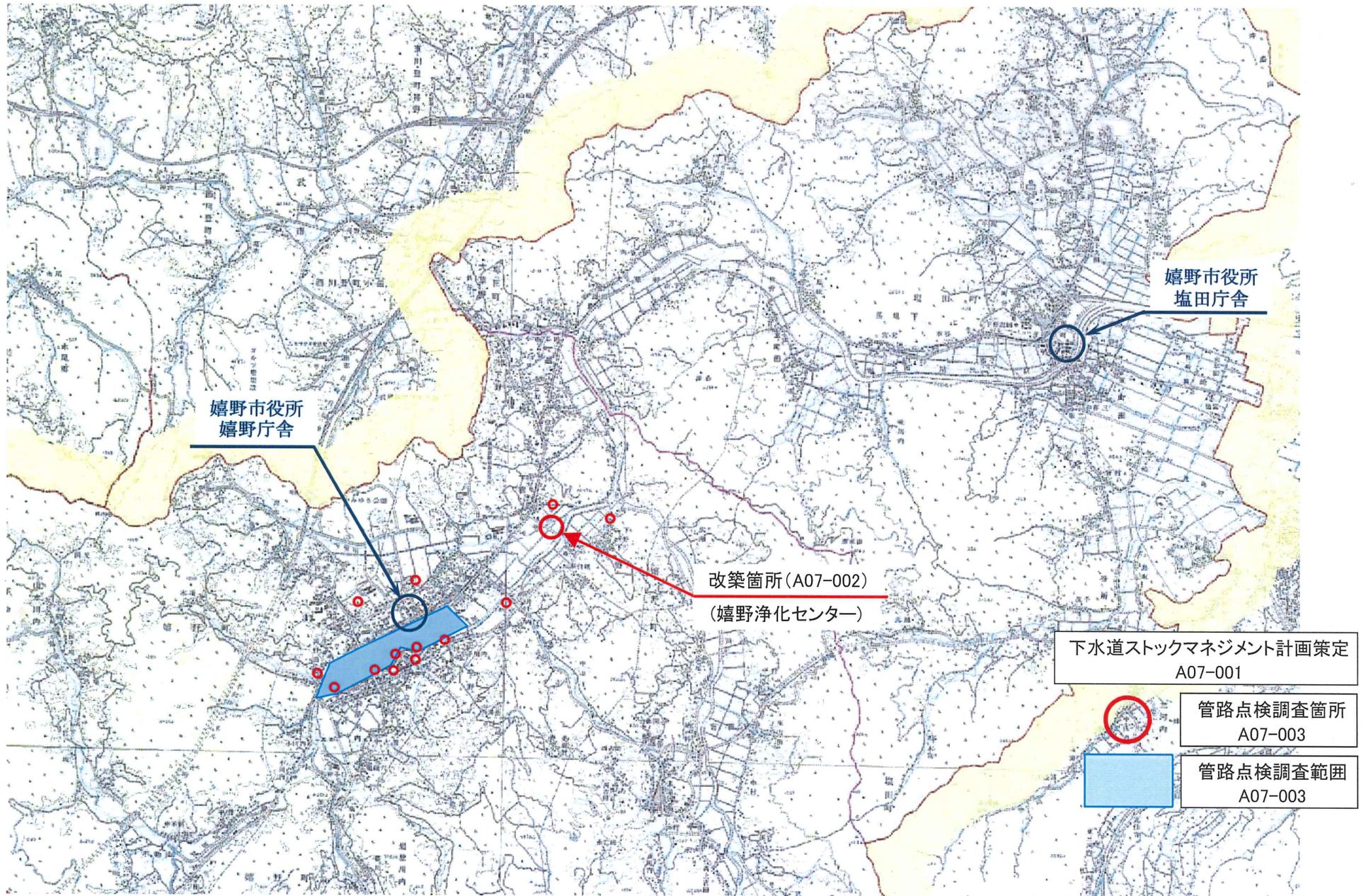
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6当初	R8末
1	下水道ストックマネジメントに基づく施設の改築実施率を0.0%（R4）から10.0%（R8）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画による緊急度の高い施設の改築実施率（%） 改築実施済みの施設数（処理施設） / 機能診断済みの施設数（処理施設）	5%	5%	10%
2	下水道ストックマネジメントに基づく管路施設の点検・調査実施率を20.0%（R4）から100.0%（R8）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画による腐食の恐れがある管路施設の点検・調査実施率（%） 点検・調査実施済みの管路施設数（m） / 点検・調査実施すべき管路施設数（m）	20%	80%	100%
3	下水道ストックマネジメント計画策定率を0.0%（R4）から100.0%（R8）に増加させる。 下水道ストックマネジメント計画策定率（%） 計画策定完了のエリア / 計画策定予定のエリア	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	-	-	下水道ストックマネジメント事業	下水道ストックマネジメント計画策定	嬉野市						32		策定済	
		下水道ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	終末処理場	改築	下水道ストックマネジメント事業	施設改築詳細設計・施設改築工事	嬉野市						140		策定中	
		下水道ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	嬉野市	直接	嬉野市	管渠(汚水)	-	下水道ストックマネジメント事業	管路点検・調査設計	嬉野市						28		策定中	
		下水道ストックマネジメント																		
												小計						200		
												合計						200		

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	嬉野市における持続可能な下水道事業の実現（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度～令和8年度（5年間）	交付対象	嬉野市



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 嬉野市における持続可能な下水道事業の実現（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合性 1) 整備計画の目標が事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標がわかりやすいものになっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 事業内容は、計画の目標を達成する上で適正なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○